

教員名	山上 真貴子 (YAMAGAMI Makiko)
所 属	教育事業部 コミュニケーション・システム開発による社会への対応
学 位	人文修士
職 名	アソシエイトフェロー
URL / E-mail	yamagami.makiko@ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード

自己制御 / 制御焦点 / 感情 / 対人魅力 / 対人コミュニケーション

## ◆主要業績

- ・セルフ・ディスクレパンシーと不快感情—調整要因としての自己注目 (1996)  
日本社会心理学会第 37 回大会、pp12-13.
- ・感情と自己 (2006) 感情研究の新展開 北村英哉・木村晴 (編著) ナカニシヤ出版 pp151-168.

## ◆研究内容

自己制御に関わる下記の研究を行った。

- ・制御焦点、および、制御モードが、対人魅力 (共同作業相手など) に及ぼす影響について検討した。
- ・気分転換に関わる諸要因について、探索的に調査を行った。

※制御焦点づけ (see Higgins, 1998) :

自己制御には、2つの制御焦点があると考えられる：

促進焦点づけ： 肯定的な結果の有無に注目して自己制御を行うか。

防止焦点づけ： 否定的な結果の有無に注目して自己制御を行うか。

※制御モード(see Kruglunski, et al., 2000) :

自己制御には、2つの制御モードがあると考えられる：

査定モード： 選択肢を比較検討する。

移動モード： 目標達成にかなうよう行動する。

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

- ・自己制御に関わる個人差が、さまざまな対人的コミュニケーションにどのような影響を及ぼすかを検討する。
- ・適正処遇交互作用の観点から、自己制御の個人差に応じた制御方略について考えていく。
- ・気分転換に関するさまざまな基礎的な知見を収集する。